

市内の発掘調査②

先月号に引き続き近年の発掘調査で発見されているものを紹介します。

【黒貝戸遺跡】

諏訪1丁目および2丁目に広がる遺跡で、富士見台中学校の北西側に位置します。これまでの発掘調査で旧石器時代の石器、縄文時代住居跡2軒、古墳時代住居跡1軒、奈良・平安時代では鍛冶遺構を含め住居跡9軒などが確認されています。平成24年度に調査した地点では、縄文時代の土坑1基、奈良・平安時代の住居跡3軒が重なった状態で発見されました。住居跡からは、土器を材料として造ったカマドや土師器・須恵器といった土器、刀子など多くの遺物が出土しました。黒貝戸遺跡は、まだまだ発



黒貝戸遺跡住居跡 土器で構築されたカマド



黒貝戸遺跡から出土した縄文土器



掘調査が終わっていない場所が多く、この周辺では、多数の住居跡などが確認される可能性があります。

【観音前遺跡】

県道ふじみ野朝霞線と浦和所沢バイパスが交わる岡の坂交差点付近から北側の台地上に広がる遺跡です。観音前遺跡はこれまでの調査で、弥生時代後期〜古墳時代初期の住居跡24軒・環濠(集落の周囲にめぐらせた溝状の遺構)・平安時代住居跡19軒・中世以降の井戸跡・火葬跡・柱穴列など、多くの遺構が確認されています。特に弥生時代後期〜古墳時代初期の大規模な環濠集落が想定されています。また過去に畑の耕作中に完全な形で底部に孔を開けた壺が発見されており、方形周溝墓(周囲に方形状に溝をめぐらせた墓)も存在する可能性が考えられています。平成24年度に調査した地点では、弥生時代住居跡4軒、平安時代住居跡1軒が確認されました。住居跡の状態は耕作などにより一部壊れていましたが、わずかな範囲に密集して確認され、集落の規模の大きさを物語っています。

問合せ／生涯学習課 文化財担当

☎049-256-17023

文化芸術

地域が主役のまちづくり

地域サポーターの紹介

地域文化振興課 ☎251



にしじま まさよ 西島 雅代さん

鶴馬在住

富士見市文化会館
キラリふじみ事業
運営サポート委員

記念事業公演で「邦楽演奏会」を市民の方々と協力して開催しました。その後も、キラリふじみの「キラリ☆風流寄席」の開催にたずさわり、江戸文化のすばらしさを市民の方々に知ってもらいたいという活動を続けています。

「キラリ☆風流寄席」(6月29日(土)開催)も、今年で11回目を迎えます。今回もキラリふじみ事業運営サポート委員の協力で、落語、帮間芸、音曲などバラエティ豊かなキラリふじみだけのオリジナルな寄席になりました。富士見市から開催できる江戸情緒あふれる文化芸術の事業で、「人情」の心を大切にするふれあいあふれる街となっていけるよう願っています。

子どもたちに伝えたい!

江戸文化が教えてくれる

「人情」の大切さを!

子どものころから邦楽、特に長唄、小唄や端唄にふれあい親しんできました。邦楽は、礼節を重んじる日本の伝統文化です。私はこの伝統文化を通して、子どもたちに人と人とのつながり、特に江戸文化の中で大切にされてきた「人情」のすばらしさを伝えていきたいと思ひ、地域の中で活動してきました。

10年前、キラリふじみ開館の際に、開館記念事業実行委員会に参加し、キラリふじみのこけら落としに協力しました。さらに、開館

